

茎葉収量が高く、稲発酵粗飼料に向く水稻新品種

リーフスター

New Rice Cultivar “Leaf Star” for WCS Usage

リーフスターは、高い可消化養分総量(TDN)収量が特徴です。特に、収穫物における、葉や茎の割合が多く、未消化粗の発生が少ないのが特徴です。

これまでの飼料イネ品種を牛に給与すると、粗の消化が悪いことが問題となっています。そこで、茎葉部分の割合が多く、TDN収量の高い飼料イネ品種が望まれています。

TDN収量が多収です

- 黄熟期のTDN収量が「はまさり」より約1割高く、既存の飼料イネ品種では最も多収です。
- 移植栽培と直播栽培の両方で「クサホナミ」より高い全重収量を示します。



未消化粗の排泄が少ないのが特長

未消化粗排泄量 (乾物中%)

リーフスター	クサホナミ
2.4	5.2

(ホルスタイン去勢牛へのWCS給与による)

「リーフスター」は茎葉の割合が高いため、未消化粗の排泄が「クサホナミ」の半分以下です。

耐倒伏性に優れる

- 熟期は温暖地では“極晩生”です。
- 稈長は“極長”で、穂長は“やや長”です。



この品種は東京農工大学および近畿中国四国農業研究センターと共同で開発したものです。

「リーフスター」は長稈ですが、移植栽培での耐倒伏性に優れます。

作物研究所 稲研究領域

問い合わせ先: 企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp <http://www.naro.affrc.go.jp/nics/>

2005- I 3